

事業名：社会を明るくする運動助成金

福祉課 地域福祉係

| | | | | | | | | | |
|------|------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|------|
| 政策 | 04 安全で快適な都市生活の充実 | | | | | | | | |
| 施策 | 01 安全な暮らしの確保 | | | | | | | | |
| 基本事業 | 02 防犯活動の推進 | | | | | | | | |
| 開始年度 | 昭和31年度 | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 | 事業補助 |

| | |
|--|--|
| 事務事業の目的と成果 | |
| 対象（誰、何に対して事業を行うのか） | |
| 社会を明るくする運動江別地区実施委員会 | |
| 手段（事務事業の内容、やり方） | |
| 「社会を明るくする運動江別地区助成金交付要綱」に基づき、事業費の一部について、予算の範囲内において市長が定める額を助成する。 〈交付対象経費〉 ・事業費 | |
| 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） | |
| 市民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会を構築する。 | |

| 指標・事業費の推移 | | | | | | |
|-----------|--------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
| 対象指標1 | 構成団体数 | 団体 | 21 | 21 | 21 | 21 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 補助金額 | 千円 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 事業参加者数 | 人 | 1,500 | 1,500 | 1,130 | 1,500 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 事業費(A) | | 千円 | 180 | 180 | 180 | 180 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 803 | 802 | 781 | 782 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 983 | 982 | 961 | 962 |

| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
|------|---------------------------------|--------------------------------|
| 25年度 | 社会を明るくする運動江別地区実施委員会の事業に対し補助金を支出 | 社会を明るくする運動江別地区実施委員会への補助金 180千円 |

| | |
|---|--|
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 事業開始背景 | |
| | |
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 少子高齢化、国際化、情報化等の大きな社会変革や、これらによる従来の価値観の変化により、家庭、学校の機能や地域の教育力が失われ、犯罪、特に少年犯罪が凶悪化、増加している。 こうした中、「安全な暮らしの確保」には実施委員会の構成団体がそれぞれの活動を強化、活発化する必要がある。社会を明るくする運動は、市民PRのほか、こうした関係団体の連携・連帯の場を提供する意義がある。 | |

| | |
|--|----------|
| 平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点） | |
| (1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？ | |
| 妥当である 妥当性が低い | 理由 根拠 |
| 犯罪・非行の防止には、関係機関の連携の下でその活動強化とともに市民意識の全市的広がりが必要であることから、主として啓発活動と関係機関の連携を図る社明運動の支援には市以外に中心となる団体はない。 | |
| (2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ | |
| 貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業 | 理由 根拠 |
| この運動の展開が直ちには犯罪・非行防止にはつながるものではないが、社明運動のPRと関係団体の連携・連帯に貢献している。 | |
| (3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？ | |
| 上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない | 理由 根拠 |
| 社明運動のPRと関係団体の連携に貢献しており、一定の成果はあがっている。 | |
| (4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？ | |
| 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし | 理由 根拠 |
| 事業を見直し、地域により密着した活動を前向きに行うことで長い視点で考えれば、成果の向上はあると考える。 | |
| (5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？ | |
| ある なし | 理由 根拠 |
| PR物品、研修、会議費用に対しての小額助成であり、削減余地はない。 | |